

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

5-I-8

5-I-8

5-I-8	章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	児童・生徒への取組
	節	I. 佐渡金銀山のブランドイメージの確立	事業主体	佐渡市社会教育課
	事業(施策)名	8 ジオパーク出前授業	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市学校教育課
	事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】 ○島内の児童・生徒に佐渡金銀山を含む「ジオパーク」の正しい知識を分かりやすく紹介し、地元への関心を高め、郷土愛の醸成を図る。 【事業内容】 ○島内小・中・高校生を対象に、佐渡金銀山を含む市内ジオサイトの巡検や授業を継続的に開催する。			
R元事業計画と実績	【元年度計画】 ●小中学校長会議及び佐渡市教育研究会において、金銀山の要素を含めたジオパークの活用についてのPRを行う。 ●各小中学校・高校からの依頼に基づき、ジオパーク推進指導員が学校に向向いて授業(説明)を行う。 (概ね延べ30回程度。同一校での複数回実施も可) 【元年度実績】 ●各小中学校からの要請に応じて出前授業、現地見学会を延べ42回実施し、そのうち10回は金銀鉱脈(石英脈)と形成過程について説明を行った。			
課題・今後の取組	【課題】 ■金銀鉱脈および形成過程を案内する場所は、主に大立堅坑周辺であるが、大立堅坑が修繕中であること、遊歩道の未整備等があり十分な観察ができない状況にある。 ■世界文化遺産の文化的内容とジオパークの自然科学的内容がマッチングしていない。 佐渡金銀山を総合的に理解するための連携した学習指導が確立していない。 【今後の取組】 ■地学的な視点と歴史的な視点が連動した副読本や学習指導案があれば、出前授業の要請や総合学習での取り組みも増加すると思われる。 このような教材開発を行うために世界遺産推進課の担当者と連携を深め、定期的な会議を持つことが必要である。 ■大立堅坑及びその周辺は現在十分な観察ができない状況にあることから、早急な整備を要望していく。			
事業評価	【事業の達成度】 ○ a・b・c] 【事業実施の効果】 [a ○ b・c] 【総合評価】 [A ○ B・C]	◇出前授業の回数は前年度を上回ったが、要請内容および地域が相川金銀山エリアでないことも多く、金銀山に関する解説の機会はやや少なかった。		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。